



同時呼吸

<http://hachioji-school.ed.jp/sande/>

八王子市立散田小学校
令和8年2月10日
臨時号

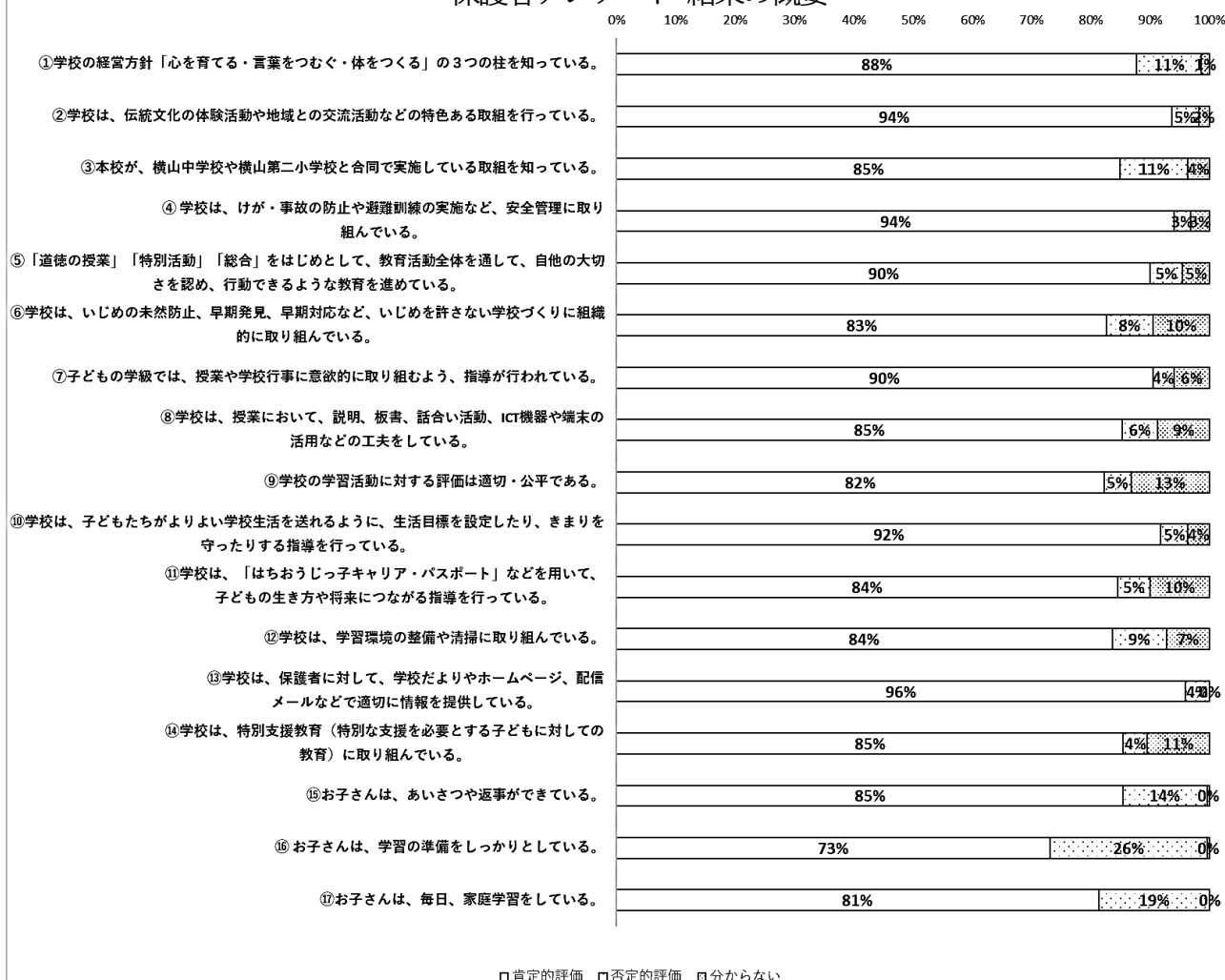


学校評価 アンケート（第2回）結果の概要

校長 島田 学

昨年12月に学校評価保護者アンケート（第2回）を実施いたしました。回答数は219通（回収率41%）でした。アンケートへのご協力ありがとうございます。結果の概要とともに今年度の教育活動を振り返りたいと思います。

保護者アンケート 結果の概要



□ 肯定的評価 □ 否定的評価 □ 分からない

【学校運営全般について】

○学びを伝承する活動

本校の特色ある教育活動は、車人形、盲学校との交流、和太鼓等、地域と協働して取り組む学習が「学びを伝承する活動」として、充実・定着してきたと考えます。「伝統」といっても毎年度、その学年の個性が大きく表れるのが興味深いです。

○キャリア教育・小中一貫教育

来年度は、この活動が横山中学校のキャリア教育につながる大きな柱となります。地域、中学校と連携して「地域の一員として、自身のこれからを考える」意識を高めていきたいと思っています。

○通知表「学校外における教育活動」

通知表の「学校外における教育活動」について、保護者の皆様からたくさんの情報をいただきました。来年度以降も同様の取組を行いますのでよろしくお願い申し上げます。

【心を育てる】

○いじめの防止・対応

現在も「いじめ」として対応している案件が複数ございます。案件の中には、「もっと早く察知できていれば…」と反省しなければならないものもございます。以前に比べれば組織的に対応する体制ができていると感じますが、教室内での友達同士の言葉遣い一つに対しても違

和感を察知できるような意識の高さが必要だと感じております。

一方で、いじめ対応の趣旨として、最優先されるのは、被害を受けた子どもが一刻でも早く日常生活を取り戻すことと再発の防止です。いじめが発生してしまった場合、学校と被害・加害双方の保護者の方で協力していくことが欠かせません。今後も未然防止、早期発見・対応、状況の改善に向けて様々にご相談させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

○様々な子どもたちへの対応

学校には様々な状況の子どもたちがおります。学校では、そういった子どもたちの状況を把握し、保護者の方、ケースによっては専門家や関係機関と話し合いを重ねて支援や対応をしております。その中には、ルールからの逸脱とを感じるようなものもあり、他の子どもたちへの説明や配慮が必要な場合もあります。もちろん、子どもたちに理解を求めるだけでなく、周囲の子どもたちのがんばりにも応えていきたいと思っております。

【言葉をつむぐ】

今年度は、高学年において教科担任制を試行いたしました。中学校への接続ということだけではなく、授業の改善や子どもたちを多数の教員で見守るという観点からも確かな手ごたえを感じております。一方で、教員の教室移動が頻繁になるために、慌たしさもあります。また、時間割の変更などの対応が難しいこと、教員の欠員が生じた場合の後補充が難しいことなど、システムとしての課題があります。中学校のシステムや他校の実施状況も参考にして、柔軟な実施ができるように工夫していきたいと考えております。

【体をつくる】

○子どもたちの体力について

毎年、東京都統一体力テストを実施しております。報道等で子どもたちの体力の低下について取り上げられていましたが、散田小学校でも全体的に体力低下の傾向が見られます。様々な要因が考えられますが、近年の水泳指導も中止せざる得ないような暑い日かなりの期間にわたって続く状況は大きく関係していると感じます。

SANDA☆ハッスルタイムなど運動に親しむ取組や体力テストにおいて特に課題となっている項目に関連する運動を授業の中で取り入れていくことについては、引き続き行ってまいりたいと思います。

また、子どもたちの様子を見て、放課後も含め、「遊びの中で目一杯体を動かす」という時間も少なくなっているようにも感じます。子どもたちにも好評なロング昼

休みの設定をできるだけ増やしていきたいと考えております。

○食育・給食指導

食育に関して、栄養士や給食委員会による取組も盛んにおこなわれています。八王子市の給食では郷土にちなんだメニューの提供だけでなく、味付けなども様々な工夫をしております。残菜率から見て、散田小学校の子どもたちは給食をよく食べていると思います（特に低学年）。一方で高学年では、副菜（小皿に盛り付けるもの）の残菜率が高い傾向があります。家庭で食べ慣れていないものでも、ゆっくりと味わうとそのおいしさに気付くこともあります。できるだけ喫食する時間を確保していきたいと思います。

【児童のアンケート結果について】

例年、子どもたちにも3種類のアンケートを実施しております。

- ◇ 学校評価児童アンケート（5・6年）
 - ・保護者アンケートと同様の質問項目です。
- ◇ さんだの子ども（全学年）
 - ・子どもたちが自身の生活を振り返るアンケートです。
- ◇ 授業評価（4年生以上）
 - ・自分が受けている授業の評価です。

「学校評価児童アンケート（5・6年）」では、保護者アンケートと同じような傾向が見られ、子どもたちが学校の様子について、ご家庭でもよく話題にしている様子が感じられます。

「さんだの子ども（全学年）」では、各項目について「よくできた」と回答する割合が1学期よりも低くなる傾向がありますが、子どもたちの状況を見ると、自身をより客観的に見つめたり、厳しく評価したりする様子が見られますので、今回の結果は、子どもたちのがんばりが表れているとも受け取れます。

次のページに結果の概要を示しておりますので、お子さんとの話題にしていいただければと思います。

「授業評価（4年生以上）」は、授業を受け持つ担任や専科の先生全員について回答してもらっています。結果から課題を見出し、改善に努めて参ります。

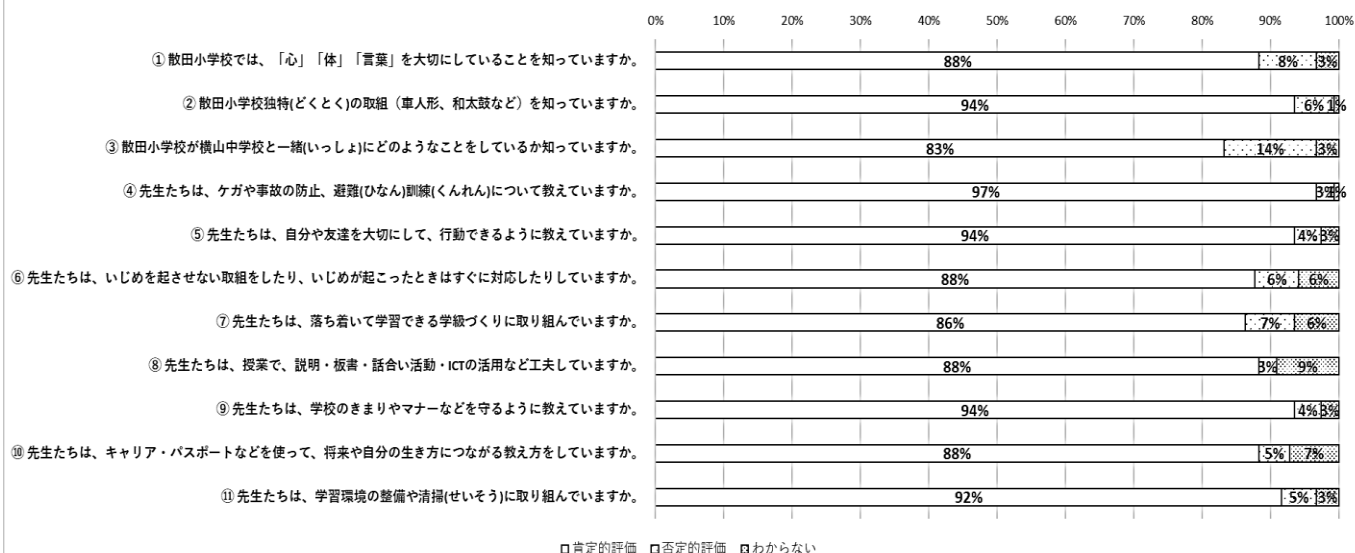
○お礼

今回のアンケートでも、ご意見の他、温かいコメントをたくさんいただきました。ありがとうございました。ご質問等ございましたら、ぜひ校長に声をかけていただければと思います。

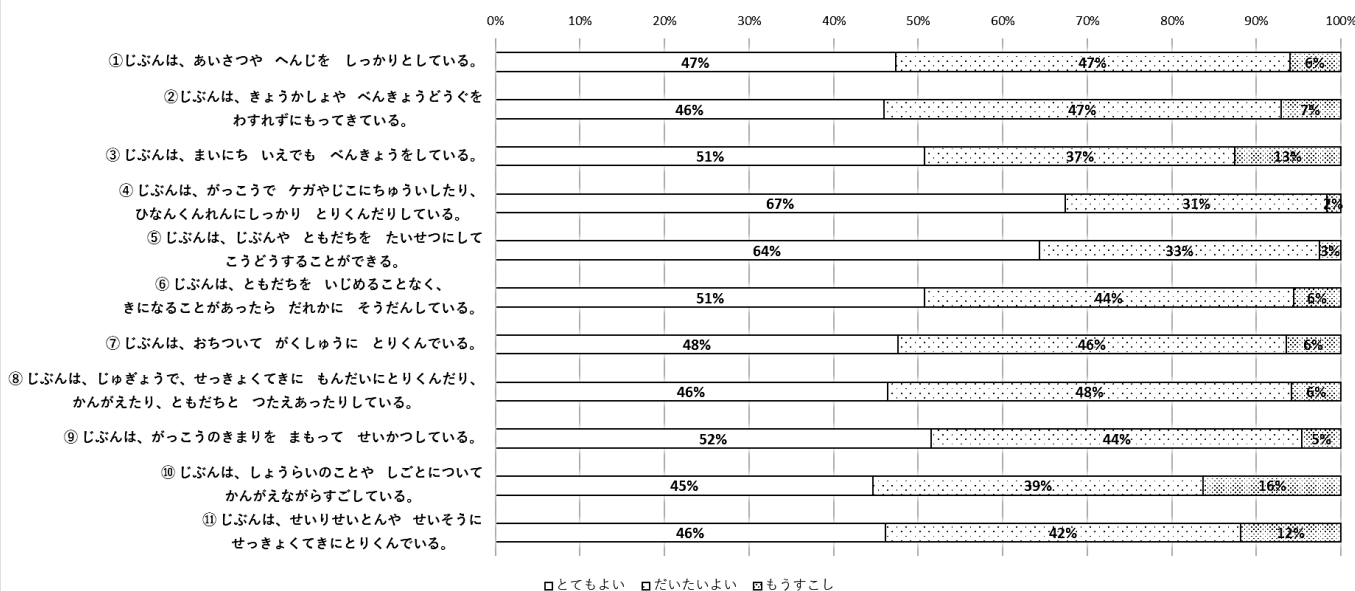
今後ともよろしくお願い申し上げます。



学校評価・児童アンケート（５・６年）



さんだの子ども



授業評価（４年生以上）

